

宇部市健康づくり推進審議会（令和5年度第1回）開催にかかる報告書

1 日時

令和5年（2023年）8月18日（金）19時30分～20時25分

2 場所

保健センター 1階 健診ホール

3 出席者

(1) 審議会委員 13人

オブザーバー 2人（教育機関）

(2) 事務局 10人

健康福祉部

健康増進課

佐々木部長、加生次長

伊藤課長、奈須副課長、柴崎係長、福永係長、  
嶋渡係長、高橋係長、武田、藤本

4 配布資料

(1) 第二次宇部市自殺対策計画の策定について

(2) 第四次宇部市健康づくり計画推進ワーキンググループの実施状況について

5 概要（会議録）

(1) 会長の選出 西村委員を会長に選出

(2) 第二次宇部市自殺対策計画の策定について

（事務局）【説明】

（委員）自殺死亡原因として最も多く挙げられている「健康問題」の統計には、身体的・精神的な要因も含まれているのか。どのような統計をされているのか確認したい。

（事務局）健康問題として、かなり広い意味で統計されている。例えば、何らかの問題が発生した後に、様々なストレスなどから精神疾患を患い、治療をされていたが最終的に亡くなられた方も健康問題として含まれている。

（委員）最近産後うつの問題がクローズアップされている。子育てする方を追い詰めないような施策ができたらと思っている。

（オブザーバー）小・中学校では、児童生徒にいじめや心の相談に関するアンケートを実施している。中には相談先がないと答える児童生徒もいる。そのような場合には、学校内で情報を共有し、声掛けや見守りをしている。さらに、児童生徒だけ

でなく、保護者も子育てなどで悩まれていることがある。学校以外でどこに相談したらよいのか窓口を知らない人が多い印象である。

(委員) 不登校の児童や家庭の生活困窮、家族やこどもに障害があり、支援が必要な家庭に対してサポートしている中で、支援につながっているケースはよいが、こちらが関わりたくても支援を必要とされておらず、介入できない家庭もある。また、SOSを出していいか分からないのか、出し方が分からないのか、そのような方も多いと感じる。今後も、孤立しがちであったり、セルフネグレクトのような状態になっていたりする家庭に関わり、サポートをしていけたらと思っている。

(委員) 自殺対策計画は県でも策定されていると思うが、それぞれの整合性と、市はどのような考え方で計画の策定を進めているか。

(事務局) 山口県の基本理念は「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」ということで、国の大綱と同様の基本理念を基に現在計画を進められている。また、国の大綱が昨年示されたことに伴い、県も今年度中に計画の見直しをされる。山口県全体と宇部市の自殺者の状況は似たような部分もあれば宇部市独自の特徴的な部分もあるため、参考にしつつ、宇部市の特徴を捉えた計画を策定していきたいと考えている。

(委員) 地域の取組として、高齢者は独居の方が多いため、各地区の担当者が声掛けや見守りを行っている。自治会の会員になっていない世帯の見守りなどが行っていないところは課題であると感じる。また、登下校時の見守り活動をしているが、挨拶をすると逃げられたり、スルーされてしまったりすることもある。見知らぬ人から声を掛けられても返事をしないようにと教えられ、あえて挨拶をしないというような風潮もある。

(事務局) あえて挨拶をしないという風潮もある中、今年度、厚生労働省が発刊する厚生労働白書で、「地域共生社会」について分析されており、「隣近所の人とのつきあい方として望ましいもの」という設問に、約半数は「挨拶・世間話をする程度」のつきあいが望ましいと回答。特に若年層の割合が高くなった。孤立・孤独がキーワードとなる一方で、あえてそれを選んでいる方もいる。居場所に関することとして、今の若年層はネット上で繋がりをもち、この問題は非常に難しいと感じる。

(委員) いのちの電話など、相談窓口との横の連携も大事だと感じた。普段相談を受けている方が感じておられることはたくさんあると思うため。

(事務局) 自殺対策計画のワーキンググループのメンバーに、様々な相談窓口のスタッフの方に参加していただいているので、しっかり御意見をいただけたらと思っている。

- (委員) 7 ページの若者ふりスペース利用件数は、令和元年から令和 4 年かけて随分数字が伸びている。気になったため、市のウェブサイトを見つめると、施設が令和 4 年に充実したことも関係あると思うが、同じ人が複数回利用しているのもカウントしているのではないか。会員制になっているので、会員証の発行人数のほうが、より施設の利用者を表すことができると思う。
- (事務局) 延べ人数ではなく実人数で記すということで理解した。居場所づくりは充実してきたが、本来の機能を持たせるということについては、課題であると捉えている。
- (委員) 歯科関係では乳幼児健診を実施する中で、むし歯がある方とない方の差が両極端なデータが出ている。多数歯カリエスまたは、ランパント・カリエスとも言うが、ネグレクトの可能性を否定できないという考えもあり、幼少期の心の発育において歯科治療を受けられない、受けさせてもらえない子供がいるということになると、その方が大人になってもあまり楽しくない人生を送ってしまうことが多い。市での見守り支援及び保育園、幼稚園、学校、検診等の場で、多職種の情報交換も必要かと考える。  
7 ページに課題として、相談窓口の周知、幅広い世代への情報発信の強化とあるが、現時点で具体的な案などは出ているか。
- (事務局) これまで、ウェブサイトや広報、メール、LINE などで情報発信をしてきたが、窓口を知らない人が半数いた。具体的な今後の取組については、ワーキンググループで皆様の意見を聞きながら、何が足りていないのか、しっかり届けたい人はどのターゲットなのか、伝わってほしい人に伝わるような情報発信を考えていきたいと思っている。
- (委員) 若い女性の自殺率が上がっているということだが、若い人はスマホを持っているので、電話をかける方法よりも、公式 LINE(チャット)からの相談又は商業施設に窓口の二次元コードを掲示するなど、若い人が利用しやすい方法、目につきやすい場所を抑えておくといいかもしれない。
- (委員) 産業医をしている関係で、事業所の従業員にストレスチェックを実施しているが、最近は働き盛りでメンタルヘルスの異常がある方が多く、困っている方は増えていると痛感している。
- (委員) 7 ページの課題と 8 ページの宇部市の取組のポイントが軸になると思うが、望まない孤独と孤立の予防というところで、その状況に陥っている人は、スマホでも情報を取りにいかないため、なかなか気づかない。できるだけ人と人のつながりで、現状困っていない人にも情報が届けば、困っている人に伝えることができると思うので、前回の計画から引き続きにはなるが、情報の伝え方の工夫が一番難しいのかなと感じている。そのあたりを今回の計画やワーキンググループでしっかり届ける方法が見つかるといいなと思っている。

宇部市の現状では若い方の自殺率が高いという非常に残念なことだと思うので、行政だけでなく企業も巻き込んでいくことが計画に盛り込まれるといい。

(委員) 5 ページの自殺の原因について、国全体であれば健康問題の中でも身体や精神の問題がどのくらいあるのか年代別に情報が出ているが、市でそこまで出してしまうと特定することにもなりかねないので公には出ていないと思う。それでも、行政としてデータを求めたら情報が手に入るかもしれないので、もしそのようなデータが分かれば、今後具体的な対策を考える時に有効である。

若者という言葉だが、宇部市の場合、実際 20 代だと思う。若者という言葉だとボヤッとしてしまう。20 代だとしても、大学・専門学校に通う人なのか、働く世代の中の 20 代なのか、そういうところも分かっていると話が具体的に進んでいくと思う。

地域レベルだと、つきあい自体求めなくなっている時代。「地域の人とのつながりはどうか」という質問に、「強い/どちらかといえば強い/どちらかといえば弱い/弱い」の 4 択で回答する設問がよく使われるが、宇部市は県内の 19 市町のうち最下位で、「強い」「どちらかといえば強い」と答えた人が合わせて 20%に届かない結果となっている。県内の小さな町では 50%弱、隣の山陽小野田市でも 30%くらいある。「規模が異なるから」では済ませられない話だと思っている。「宇部では他の市町よりも子ども会の消滅が進んでいるのではないか」など色々考えることがあると思うので、そういった話ができるといい。

(委員) 宇部市はつながりが薄いまちということを初めて認識した。

時々思うのは、芸能界の方が自死されたときに必ずテロップが出て、相談窓口の情報も流れているが、窓口の利用状況はどうなのか、支援につながっているのか気になっている。

(委員) 有名人の自殺報道に関しての情報提供だが、コロナ禍になって自殺者数が増加したが、明らかに数が増えているところは、有名人の自殺報道に影響されている。報道がある前の 2 週間と比較し、後の 2 週間は自殺者数が一気に増えるということが起きており、ニュースなどで報道するときは、必ず相談窓口も周知することがルールになっている。昔はファンの方が後追い自殺的という印象だったが、今は自殺したい気持ちがかくすぶっているような方が報道に刺激を受け、きっかけとなり自死されるという結果になっているのかなと考えている。(参考「自殺対策白書」)

(3) 第四次宇部市健康づくり計画推進ワーキンググループの実施状況について

(事務局)【説明】

(委 員)【意見なし】

(4) その他

(事 務 局)【連絡・報告なし】

(閉会)